

第18回 ヨウ素学会シンポジウム

- ◆ 日時 : 2015年9月16日(水) 9:30~17:05
- ◆ 場所 : 千葉大学西千葉キャンパス総合校舎
- ◆ 主催 : ヨウ素学会、千葉大学
- ◆ 共催 : (公社)日本化学会、日本ヨウ素工業会
- ◆ 協賛 : (公社)日本薬学会、(公社)有機合成化学協会、日本ヨード懇話会、
(公財)千葉県産業振興センター、(一社)千葉県製薬協会、千葉工業大学

<I部~IV部:講演> 総合校舎B号館

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:30~9:35	挨拶	石川 勉 会長		
I部: 座長 (海宝龍夫)					
①	9:35~10:15	招待講演	Supramolecular Amplification of Amyloid Self-assembly by Iodination	Pierangelo Metrangolo	Politecnico di Milano
II部: 座長 (荒井孝義)					
②	10:15~10:30	一般講演	2-ヨードベンズアミド酸化触媒の開発研究: テトラヒドロフラン-2-メタノール類の 酸化的開裂反応への応用	○堀内悠友・山田明広・ 南部寿則・藤原朋也・ 矢倉隆之	富山大院薬
③	10:30~10:45	一般講演	イミノヨージナンを用いた触媒的 化学選択的アミノ化反応による α -アミノ酸合成	○矢崎 亮・徳益圭祐・ 大嶋孝志	九大院薬
④	10:45~11:00	一般講演	銅触媒によるヨウ化シアンを用いる 有機ボロン酸のシアノ化反応	○岡本和紘・坂田尚紀・ 大江浩一	京大院工
III部: 座長 (南方聖司)					
⑤	11:00~11:40	招待講演	Multidentate Halogen Bonding in Solution	Stefan M. Huber	Ruhr University Bochum
IV部: ポスター発表 ショートスピーチ					
	11:45~12:35	21件×2分:50分(交替時間含)			

<Vポスター発表、企業展示> 総合校舎A号館2階大講義室(A201)

*時間 ;	展示 12:00~14:45・・・発表と質疑 (13:15~14:45)				
ポスター発表	発表件数 28件	物理化学、有機反応理論、分析化学、触媒化学、分子生物学、資源、環境、エネルギー、エンジニアリング、プロセッシング、利用、応用、実用品の開発と製品紹介(医薬品、殺菌消毒剤等)、生物圏におけるヨウ素の働きとその循環機構 など			
企業展示	ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器等の展示 (時間; 随時)				

<VI部~VIII部:講演> 総合校舎B号館

	14:55~15:00	学会賞受賞式(受賞者:石原一彰)			
VI部: 座長 (北村二雄)					
⑥	15:00~15:40	受賞講演	ヨウ素触媒及び反応剤を用いる高選択的 有機変換反応の開発	石原一彰	名大工
VII部: 座長 (加納博文)					
⑦	15:40~15:55	一般講演	ヨウ素酸化酵素 ~その発見から応用まで~	天知誠吾	千葉大院園芸
⑧	15:55~16:10	一般講演	Iodine Dosing System for Application in Agriculture, Food Production, Golf Courses, and Industry in the USA	Jared Franks	Clarion Water LLC
⑨	16:10~16:25	一般講演	有機ヨウ素化合物のためのヨウ素127-NMR同定法	○加川夏子・鈴木優章・ 小暮紀行・當銘一文	千葉大院薬・千葉大環境 健康FSC・島根大院総理
VIII部: 座長 (柳田祥三)					
⑩	16:25~17:05	招待講演	有機ヨウ化鉛ペロブスカイトを用いる 高効率薄膜太陽電池と光ダイオード	宮坂 力	桐蔭横浜大院工

※各講演時間は、質疑応答の時間5分を含みます。

17:30~19:00	懇親会 (大学生協フードコート2)
-------------	-------------------

ポスター発表プログラム

会場：千葉大学 総合校舎A号館2階大講義室—開場 12 時 00 分 発表と質疑 13 時 15 分～14 時 45 分
番号前に「S」がある発表は、ショートスピーチ予定

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
S01	超原子価ジアリール- λ^3 -プロマンを用いたヨードアルカンのヨウ素/トリフラート変換反応：反応系中におけるアルキル(アリール)- λ^3 -ヨードン生成の新しい方法論	○川角亮介 ¹ ・宮本和範 ^{1,2} ・増本優衣 ¹ ・内山真伸 ^{1,2}	¹ 東大院薬・ ² 理研
02	超原子価ヨウ素を利用する 1,4-ベンズジイン合成戦略の開発	○北村二雄・榎藤圭祐・小山田重蔵	佐賀大院工
S03	トリメチルシリルアレーン類の脱シリル化/アシルオキシ化	○榎藤圭祐・小山田重蔵・北村二雄	佐賀大院工
S04	超原子価ヨウ素により促進されるスチレン類の <i>gem</i> -ジフッ素化反応	○牟田健祐・小山田重蔵・北村二雄	佐賀大院工
S05	ヨードベンゼン触媒を用いる次亜塩素酸ナトリウム酸化によるグリコール開裂とその応用	○松島諒二・山崎研人・米山 心・大杉梨栄・吉川 葉・桐原正之	静岡理工大理工
S06	ジアリールヨードニウム塩を利用する高効率的金属フリーカルボン酸アリール化法	土肥寿文・住田康平・○水野瀬里奈・佐村和紀・加藤麻未・北 泰行	立命館大薬
S07	三成分脱水縮合による多様なヨードニウム塩の簡便・クリーン合成	土肥寿文・住田康平・○小島悠輔・加藤麻未・佐村和紀・北 泰行	立命館大薬
S08	ヨードイリド型試薬とアリールアルコールおよびボロン酸との反応	○高田大裕・有森貞幸・柴田哲男	名工大院工
S09	Synthesis of Diaryliodonium Salts for Trifluoromethanesulfonyl-Arylation	○Prajwalita Das・松崎浩平・徳永恵津子・柴田哲男	名工大院工
S10	超原子価ヨウ素を用いた酸化的カチオン- π 環化反応	○下垣実央・藤田守文・杉村高志	兵庫県大院物質理
S11	ハロゲン結合相互作用を利用した触媒的エナンチオ選択的ヨードエーテル環化反応	○魯 彦会 ¹ ・仲辻秀文 ² ・石原一彰 ^{1,3}	¹ 名大院工・ ² 関学大院理工・ ³ CREST
S12	光学活性アミノイミノフェノール-銅錯体を用いる触媒的不斉ヨード環化反応	○渡辺旺嗣 ¹ ・矢部真之介 ² ・山中正浩 ² ・荒井孝義 ¹	¹ 千葉大院理・ ² 立教大院理
S13	ヨウ素酸と <i>N</i> -ヒドロキシフタルイミドを用いた第三級 C-H 結合のリッター型アミノ化	○竹本憲太・清川謙介・南方聖司	阪大院工
S14	ヨウ素(I)を触媒とする分子間・分子内ヘテロ-エンインメタセシス反応	○立石恵一郎・村井洸介・齊藤亜紀夫	東京農工大院工
S15	四ヨウ化チタンにより促進される γ -アルコキシ- α, β -アルキルケトン誘導体のヨード-Mannich 反応	○八谷 巖・坂田啓斗・矢代 快・溝田 功・清水 真	三重大院工
16	ヨウ化ビニル化合物を鍵中間体とする one-pot クロスカップリング反応による置換アルケン類の合成	○川口真一・榎田悠平・野元昭宏・小川昭弥	阪府大院工
17	ヨウ素を用いたケトンからオキサゾールのワンポット合成反応	○今井 奨・森山克彦・東郷秀雄	千葉大院理
S18	2-(<i>o</i> -アルキルフェニル)イミダゾール類のヨウ素環化によるイソキノリニウム塩形成反応	松本祥治・○菊地 脩・赤染元浩	千葉大院工

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
19	ベンジルアルコール類と HI ガスとの反応	松本祥治 ¹ ・○内藤真史 ¹ ・ 赤染元浩 ¹ ・大谷康彦 ²	¹ 千葉大院工・ ² 合同資源
S20	キャビティ型分子骨格を活用した安定な第一級アルキル置換 ヨウ化セレンニルの合成	○木村龍太郎・柿本 涼・ 佐瀬祥平・後藤 敬	東工大院理工
S21	ヨウ素原子を導入したジアロイルメタナートボロン ジフロリドの結晶状態における常温燐光特性	○酒井敦史 ¹ ・太田英輔 ^{1,2} ・ 松井康哲 ^{1,2} ・池田 浩 ^{1,2}	¹ 阪府大院工・ ² 阪府大 RIMED
S22	RF スパッタリングによる Ti-C-I 系薄膜の作製	○藤巻果織 ¹ ・向山幸佑 ² ・ 坂本幸弘 ³	¹ 千葉工大院・ ² 千葉工大工・ ³ 千葉工大
23	光架橋基を導入した PVA 膜中におけるヨウ素錯体形成	○柏井大樹・江間裕介・ 藤澤 翔・岩村直樹・佐藤勇介・ 水越正憲・長野那岐・一國伸之・ 高原 茂	千葉大院融合
S24	ヨウ化物塩の電子伝導性の分子モデリングによる検証	○柳田祥三 ¹ ・柳澤 将 ² ・ 瀬川浩司 ³	¹ 阪大名誉・ ² 琉球大・ ³ 東大先端研
S25	ヨウ素誘導体の抗酸化機能	○柳田祥三 ¹ ・鈴木忠明 ²	¹ 阪大名誉・ ² 日本有機性ヨウ素 学会
S26	飼料中のヨウ化カリウム添加が産卵鶏の脂質代謝へ及ぼす 効果	○伊藤 謙 ¹ ・田口 稜 ² ・ 西向めぐみ ^{1,2} ・横山次郎 ³ ・ 喜多一美 ^{1,2}	¹ 岩手連大農・ ² 岩手大農・ ³ 日本農産
27	塩化銀担持繊維の作製およびそのヨウ素除去性能評価	○高橋佳苗 ¹ ・藤原邦夫 ² ・ 天海 亘 ¹ ・須郷高信 ² ・ 河合(野間)繁子 ¹ ・梅野太輔 ¹ ・ 斎藤恭一 ¹	¹ 千葉大院工・ ² (株)環境浄化研究所
28	天然ガスかん水の窒素除去処理がヨウ素製造へ及ぼす影響	○横田信幸 ¹ ・渡辺泰継 ¹ ・ 島崎光則 ² ・大塚雄一 ³	¹ 関東天然瓦斯開発・ ² 日本天然ガス・ ³ 合同資源

企業展示

出展企業	タイトル
関東天然瓦斯開発株式会社	抗菌性資材「ヨードアミセル」
京葉天然ガス協議会	千葉県の天然ガスとヨウ素
株式会社合同資源	ヨウ素化合物事業紹介、及び製品紹介
日本天然ガス株式会社	局方品ヨウ素の製造、かん水中ヨウ素濃度の自動測定装置
日本農産工業株式会社	健康長寿をサポートする機能卵、ヨード卵・光
日宝化学株式会社	日宝化学のヨウ素系・シアン系製品のご紹介
書籍展示	日刊工業新聞社「トコトンやさしいヨウ素の本」

会場案内



千葉大学西千葉キャンパス総合校舎

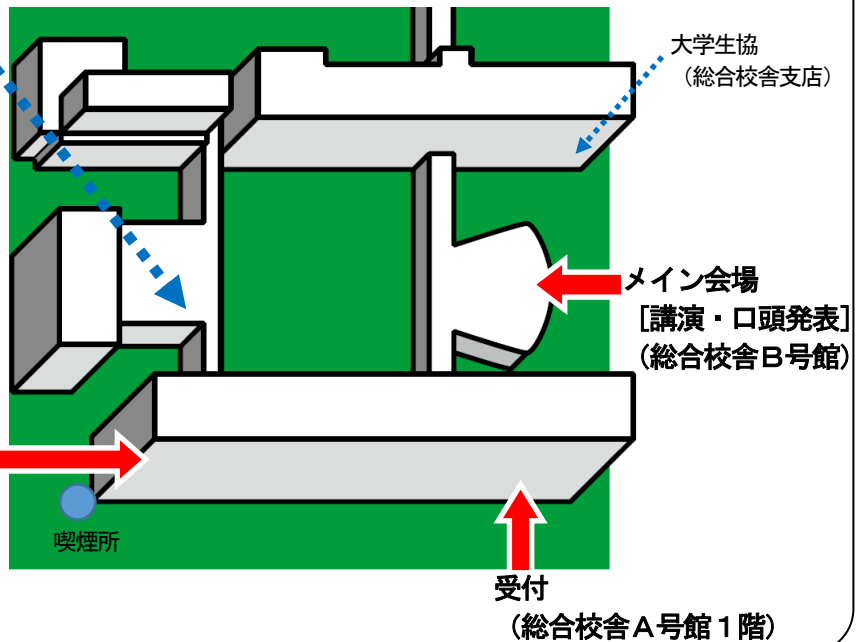
- ・JR総武線各駅停車 西千葉駅
(西千葉駅には特急、快速電車は停車しませんのでご注意ください)
- ・京成電鉄 みどり台駅
それぞれ徒歩 10分

<参考>

- 東京駅より約1時間
総武快速線(稲毛駅乗換) 総武線各駅停車(西千葉駅下車)
- 羽田空港より約90分
京浜急行(品川駅乗換) 横須賀・総武快速線(稲毛駅乗換) 総武線各駅停車(西千葉駅下車)
- 羽田空港より約100分
リムジンバス幕張・千葉方面(千葉駅下車) 総武線各駅停車(西千葉駅下車)

荷物置き場
(総合校舎C号館C11号室)
※不在となる場合もありますので、貴重品などは置かないようにお願いします。また、紛失などの責任は一切負いかねますのでご了承ください。

<2階>
ポスター会場
(総合校舎A号館
2階201号室)



お問い合わせ先

ヨウ素学会事務局
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33
千葉大学大学院工学研究科内
TEL/FAX : 043-290-3402
E-mail : sis@fiu-iodine.org